

再整備計画(案)

—令和5年度に実施した民間ヒアリング結果を基に作成したシミュレーション—

- 各ゾーンの特徴に応じた景観形成区を設定し、施設・植栽・照明などのデザインや演出を行う。
- また、公園エントランスや岬軸線を強調することで、利用者に対して、公園に入る際の特別感、岬へ向かう高揚感を与える。

パノラマ景観形成区

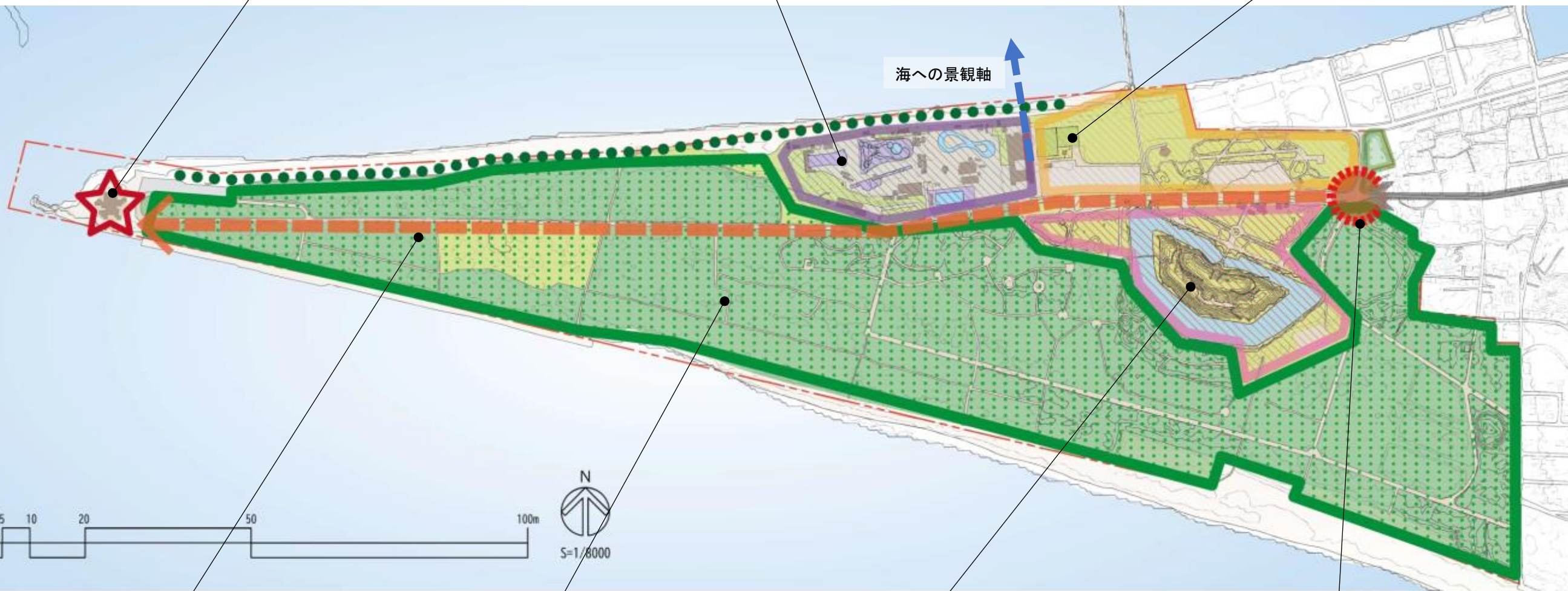
- 360°開けた東京湾を楽しめる視点場と景観づくりを行う。
- 富津岬のブランド・シンボルとなるような発信力のある明治百年記念展望塔のリニューアルを検討。

ジャンボプール景観形成区

- 海に隣接する立地を強調し、夏の季節感を盛り上げる雰囲気づくりを行う。
- 海と空の青、波の白を基調としたデザインや、海浜植物のライトアップによる演出を取り入れる。

賑わい景観形成区

- 海を身近に感じながら、飲食やイベントを楽しめる景観を形成。
- 海への景観軸を確保しつつ、海浜植物による修景、海をモチーフとした施設デザインを取り入れる。



岬軸線強調区

- 岬へとつながる2kmの軸線を強調し、高揚感をもたらす景観づくり。

松林アクティビティ景観形成区

- 松林のなかでの活発なアクティビティを想起させる景観を形成。
- 園路やサインにより、散策やマラソンなどのアクティビティを促進。

近代遺構景観保全区

- 公園の歴史の変遷を継承した景観の保全を行う。
- 遺構と調和したデザイン・色彩の整備を行い、雰囲気を損なわないようにする。

公園エントランス強調区

- 街との境界をし、公園の顔となるようなエントランスづくり。

